



学校教育目標：自ら学び、進んで行動し、互いを認め合う生徒の育成

西有田中学校だより

第22号(2025.12.24)

文責：中尾 恵子

至誠一貫

後期前半を振り返って

後期前半の学校生活の様子を、学年主任の先生方に教えていただきました。

【1年生】

○良いところ

- ・明るく元気、授業での発言が多い。メリハリを意識する生徒も出てきた。
- ・学校行事で積極的に役割を担い、運営する力も付いてきた。
- ・困っている友達をサポートできる。

▲改善が必要なところ

- ・将来の自立に向けて「次はどうするか」を考える。
- ・自分と向き合い、自分が取り組みやすい環境を整えていこうとする。
→学習用具、宿題提出の遅れ&忘れをなくす。

☆後期後半の重点的な取組内容

- ・自分のことを理解しながら学級やグループで活動する場を増やす。
- ・「将来」への意識を高め、目標に向けて日々努力する場を意識する。
- ・「先輩」になる準備期間で、手本となる言動を目指す。

【2年生】

○良いところ

- ・明るく前向きなエネルギーを発揮している。
- ・仲間を想い、行動に移す生徒が増えている。
- ・集団としてまとまり、絆が深まっている。
- ・学習に対しても一生懸命に取り組むことができるようになってきている。

▲改善が必要なところ

- ・毎日忘れずに課題に取り組み、提出物を出す。
- ・よりよい生活を目指して互いに声を掛け合う。

☆後期後半の重点的な取組内容

- ・3年生に向けての準備を進める（学習・生活態度・心意気）
- ・学校の柱となって牽引する姿勢を身に付ける。

【3年生】

○良いところ

- ・行事の中で「いいものにしよう」という気運と自分の役割に一生懸命に取り組み、協力しながら活動できた。
- ・進路説明会や三者面談を経て、受験モードが浸透してきた。

▲改善が必要なところ

- ・友人への思いやりや周囲への気遣いなどを大切にする。
- ・不安な気持ちをコントロールする。

☆後期後半の重点的な取り組み

- ・進路実現に向けて、迷わずに勉強する。
- ・2年生への引継ぎを行い、最上級生としての姿を見せる。
- ・卒業に向けての取組を通して学年や学級のまとまりを更に感じるようにする。

生徒の一番近くで様子を見守っている、厳しさの中にも温かさを感じるコメントでした。

冬季休業中の安全・信用・学習！！

明日からの冬休み（14日間）に入ります。家族や親戚との交流の中で、「2026年の自分」をイメージし、「目標を」立ててほしいと思います。「今しかない時間」と安全を意識した生活、信用を裏切らない行動、これまでの学習（特に復習）にも取り組み、後期後半に備えてほしいものです。緊急連絡先は配付資料等で必ず御確認ください。始業式は1/8です、良いお年をお迎えください。